



輝くあさひ

第 63 号

発行 朝陽地区住民自治協議会
 会長 萩原高二郎
 編集 広報部 会
 印刷 株式会社 双真

成人式

二十歳の成人式が厳かに開催 令和4年度朝陽地区二十歳の成人式

新成人を祝うかの様な素晴らしい青空に恵まれた1月7日、柳原の東部文化ホールで「令和4年度二十歳の成人式」が厳かに行われました。10時30分に男性はスーツ、女性は振袖などで新成人82名が集い、写真撮影に臨みました。

11時からの式典では、朝陽公民館の高野館長がサッカーのワールドカップでの日本選手の活躍や決勝トーナメントの試合を例えに挙げ、「夢や希望を実現するために予測と準備を行い、最後まで諦めない姿勢を貫いて自身の目標を是非実現して頂きたい」と式辞を述べました。次に萩原市長から「誰にも似ていない自分らしさを大切にして、自分が信じた目標に力強く進んで下さい。進む過程には困難なことがあると思います。何処を目指すのか、何をすべきか悩んだ時こそ前向きな気持ちが必要です。気持ちが変われば、行動が変わります。行動が変われば結果が変わります。人生の成功は自分の情熱に従う先にあります」と、ビデオでお祝いのメッセージが届けられました。

新成人を代表して北堀区の丸山祐奈さんから「私は将来多くの方々へ寄り添い不安を取り除けるような医療従事者になり、確かな知識と技術を身に付け社会に貢献できるよう精進したいと思います」と新成人として抱負や思いを語られました。

記念演奏では、「音楽は心を繋いでくれますので、二十歳のお祝いに」と愛のあいさつ、など外山賀野さんと山中和子さんによるチェロとピアノの演奏があり、美しい音色が会場に響きわたりました。又、お二人の素敵なトークもありました。



令和5年度 朝陽地区住民自治協議会定期総会のお知らせ

日時：令和5年4月22日（土）午後2時～ 場所：朝陽支所 2階集会室

朝陽地区住民自治協議会

（事務局）長野市北尾張部226-9
 電話・fax 026-219-1068
 ホームページ <http://asahi-jk.jp>

朝陽地区人口：15,065人（+7） 6,471世帯（+15）

＝2023年3月1日現在。（ ）内は同年前月比

（内訳）	南屋島 809人（-3）	北屋島 497人（-5）	北長池 2,580人（+5）
	北尾張部 2,458人（+5）	石渡 2,642人（+3）	南堀 2,659人（+1）
	北堀 2,606人（+1）	桜新町 814人（±0）	

令和4年度を振り返って

朝陽地区住民自治協議会 会長 萩原高二郎

令和4年度は、コロナ感染症が発生して3年目の年であり、ウィズコロナ元年と考えて各種事業を実施したいと考えてスタートいたしました。

お陰様で、役員の皆様や関係者及び地区住民の皆様のご協力とご理解により、様々な事業が実施できました。当初目標とした絆づくりがどの程度できたかはわかりませんが、少しでも前進できたことには幸いです。

今年度の一番の目標は、「総合市民センター」(仮称)の早期建設について、市からの前向きな回答を得ることでした。大きな前進ではありませんが、ある程度先が見えてまいりました。引き続き市側と協議していくことが必要であると感じております。

次に、第三次地域福祉計画の策定と実践であります。関係者の皆様のご努力により計画が策定され、地区福祉懇談会等で説明がなされました。今後どのように実践していくかが問われてまいります。地区社協及び担当役員等が力を合わせて推進していくことが求められております。

地域の発展と安全安心なまちづくりに、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。ウィズコロナの一年間でありましたが、皆様方には大変お世話になりました。心から御礼を申し上げます。



【総務部会】

部会長 町田 佳彦 (南堀)

今年度の総務部会は、昨年度コロナ禍で中止となった「ようこそ市長室へ」へ参加して萩原市長と2件の懸案事項について、8月26日(金)に懇談をいたしました。1件目は総合市民センターの早期建設要望について、2件目は空き家対策についてです。1件目の回答は令和8年度以降に着工時期を詰めることになりました。又戦没者追悼式の開催につきましては、9月23日(金)に、コロナ下の為参加者の規模

を縮小して厳粛に執り行うことが出来ました。前年度よりの引継ぎ事項の「災害時の情報連絡室」構築につきましては、朝陽地区災害情報共有・連絡体制図を四役・部会長・区長会で協議していただき令和5年度より適用する予定です。令和5年度以降も、総合市民センターの早期建設促進に向け更なる働き掛けを引き継いでいきたいと思っております。

【安全・防災部会】

部会長 上松 則子 (桜新町)

安全・防災部会では安心・安全なまちづくりを進めるとともに、支え合いの地域づくりをめざして、防災、防犯、交通安全等の事業を行ってきました。

1. 防災対策事業の推進

- 水害防止用土のう点検整備及び水防訓練・講習会(6月5日)
- 防災無線機の活用訓練(毎月10日または10日が土・日・祝祭日の場合は直後の平日)
災害時情報網整備事業通信訓練想定内容は、震度5強地震・大雨・台風・大雪の4項目で実施
- 防災研修会の開催(自主防災会連絡協議会・水害防止対策委員会共催)「長野盆地の生い立ちと災害一減災を考える」会議室とWEBの同時研修(6月29日)
- 防災講座の開催(自主防災会連絡協議会・水害防止対策委員会共催)「いつでもどこでも、だれでも被災者～令和元年東日本台風災害語り部からのメッセージ～」会議室とWEBの同時研修(9月6日)
- 防災施設視察研修①「防災行政無線使用方法の研修(南屋島公民館)」(8月24日)
- 防災施設視察研修②「防災関連施設の見学」(11月16日)
(1) 長野県庁内…
災害対策本部室の見学(県の災害や防災の取組みについて)通信指令課の見学(110番のしくみについて)
(2) 戸隠地質化石博物館…
「長野盆地の地質構造について」の説明と展示物見学

2. 防犯対策事業の推進

- 夏季及び年末防犯パトロールの実施(7月・12月)
 - 防犯研修会「地域における防犯活動について」(7月12日)
 - ポスター立て看板による啓発活動の実施(春・夏の地域安全運動・全国地域安全運動・年末警戒)
 - 電話でお金詐欺(特殊詐欺)は昨年に比べ件数は減っていますが被害金額は増加しています。被害者の8割が自分は詐欺に遭わない、騙されないと考えていたそうです。見知らぬ人が現金を取りに来たら絶対に渡さないようにしましょう。
 - 軒先のタイヤなど盗難に遭うので保管管理に気をつけてください。短時間でも車は必ず施錠し、貴重品は車の外から見えるところに置かないようにしましょう。
- ### 3. 交通安全対策事業の推進
- 交通安全啓発街頭指導の参加協力(主管:交通安全協会朝陽支部)
夏の交通安全やまびこ運動・秋の全国交通安全運動・年末の交通安全運動等
 - 交通安全推進委員会・各地区育成会等が行う市道等の白線引きにおける必要備品の要望調査及び物品調達の実施
 - 令和5年4月1日より全ての自転車利用者ヘルメット着用の努力義務が課されます。自転車に乗る時は命を守る乗車用ヘルメットを積極的にかぶりましょう。

【環境美化部会】

部会長 坂田 公男 (北尾張部)

1. 生活環境改善の取り組み

- ① 春、秋のごみゼロ運動に併せて、各区でごみ拾い、河川清掃を実施しました。
 - ② 千曲川河川敷での探鳥会はコロナ禍で中止になりましたが、河川敷でのごみ拾いを実施しました。
 - ③ ごみ集積所補助事業及び資源回収報奨事業を行いました。
- ### 2. 地球温暖化防止への取り組み
- ① 「家庭でできる温暖化対策」、「水道の安全とおいしい水」の市政出前講座を計画しましたが、コロナ禍により

中止になりました。

- ② 上記の中止により「地球温暖化について」の学習資料を希望者に配布しました。
- ### 3. 視察研修について
- ごみの分別及び減量化に向けての理解を高めるため、ながの環境エネルギーセンターを視察しました。
- ### 4. その他
- ① 各種清掃用具の注文受付をして配布しました。
 - ② 不法投棄防止用等啓発立て看板の注文受付し、配布しました。

【社会福祉部会】

部会長 高田 知男 (南堀)

令和4年度は、前年度までの新型コロナ禍で活動を中断していた各福祉事業活動を少しずつ再開し、進めることができた年でした。

福祉事業は、男性の地域デビュー事業として「ボッチャ講習会&大会」「手打ちそば教室」「コーヒーの淹れ方と楽しみ方」を開催。傘寿のお祝い会(傘寿の記念品贈呈)、ふれあいの旅(関谷温泉湯っ蔵んど)も開催しました。福祉自動車は、市内他地区で中断していた時も、運転の担い手であるボランティアの皆さんのご努力で継続することができました。また、各地区でもはつらつ体操、お茶のみサロン等の活動も再開しました。

福祉事業活動を再開して嬉しかったことは、参加の方々

が再開を待ち望んでくださり「楽しかった!皆さんにあえて嬉しかった!」とお声が、私たちの励みにもなった1年でした。

研修活動は、本年度は福祉推進員さんの73%の方が新任で、5月に福祉推進員研修会を2回に分けて行い、福祉事業を再開するにあたっての感染対策・注意事項や「福祉とは」等の基本について学びました。福祉推進員の視察研修を芹田地区住自協(芹田地区社協)と行い、また、朝陽地区第三次地域福祉計画の要約版を全戸配布し、周知・啓蒙を兼ね、各地区において福祉懇談会も開催でき、令和4年度朝陽地区社会福祉大会も3年振りに開催しました。

【健康増進部会】

部会長 丸山 里美 (北堀)

令和4年度も前年度事業を継承しつつも、新型コロナウイルスの感染状況に応じて、十分な対策を取りながら、以下の事業を行いました。

1. 健康推進員研修会の開催(講演会 講師 三陽保健センター保健師)(9月24日)
2. 健康だよりの発行(全戸回覧)第27号(9月)、28号(12月)、29号(2月)

今年度もコロナ禍の為、区民の皆様を対象とした講演会等は控え、推進員対象の講演会の開催のみとなりました。来年度は、朝陽地区の皆様のご健康寿命の延伸を目指し、多くの皆様にご健康維持・増進に関心を持っていただけるような事業を計画していきたいと思っております。

【教育・文化部会】

部会長 杉本 詔守 (北堀)

新型コロナ禍の終息が中々見通せない状況下、青少年の健全な育成を進めると共に住みやすい地域社会を図るため、それぞれの事業を通して理解を深めていくこととしました。

例年行うあいさつ運動強調月間(6月、9月)では、街頭に立ち通学、通勤の方々に声掛けを行う活動を本年度も続け、各地域の方々の協力を得ながら6月と9月合わせて471名の方々のご参加をいただくことが出来た。現在の多様化する社会問題への理解を深めるため講演会を開催しました。

本年度は、人権を考える住民集会実行委員会が主催する講演会を10月8日(土)に、また教育・文化部会は青少年健全育成推進大会の講演会を10月15日(土)にそれぞれ開催

しました。

また、家庭・地域学びの課関係では、年2回の青少年健全育成情報交換会への参加、少年育成センター関係の研修会および朝陽地区巡回指導、環境浄化活動に関する意見交換会等を含め、相互の関係性を確認しました。

他にも、朝陽育成会少年野球の「サンライズ杯野球大会」、朝陽地区少女ソフトボールクラブ「朝陽ライズ」が参加する球技大会を通して近隣地域の人々との親善と交流を深めることが出来た。なお、本年度も「地域と学校との連携懇談会」及び「朝陽地区綱引き大会」は中止としました。

【公民館部会】

部会長 山崎 栄二 (北長池)

1. 第54回朝陽地区親善球技大会 8月28日(日)
2. 朝陽地区敬老会 9月10日(土)
1.2.の事業についてはコロナ感染防止のため中止
3. 第57回史跡巡り 11月19日(土)
「真田10万石の城下町の歴史を訪ねる～松代の旅」を計画。
秋晴れの下、72名の参加者により歴史に触れる有意義な時を過ごしました。

4. 令和4年度朝陽地区成人式 1月7日(土)
「二十歳の成人式」として東部文化ホールにて開催。
82名の新成人の皆様のご門出を祝うに相応しく、当日は晴天にも恵まれ盛大な式典となりました。
令和5年度も同様の活動を計画しています。区民の皆様には大勢の参加をお願いいたします。

【広報部会】

部会長 早川 球喜 (石渡)

1. 広報紙「輝くあさひ」を第60号が令和4年7月1日に、第61号が10月1日に、第62号が令和5年1月1日に、第63号が3月31日にそれぞれ発行しました。
2. 第60号では、朝陽地区住民自治協議会の総会、事業計画などを、第61号では、「市長と一緒に楽しいラジオ体操講座」などを、第62号では、朝陽地区住民自治協議会長及び朝陽支所長の「新年のご挨拶」などを、第63号では、二十歳の成人式及び会長、各部会長の「令和4年度を振り返って」などの行事、事業等を取材し、記事を掲載しました。
3. 各号(第60号を除く)では、朝陽地区8区の行事及び出来事取材し、記事を掲載しました。
4. 各号では、朝陽地区内の事業者の広告を掲載しました。



どんど焼き 北堀

早朝には雪が降った後、気持ちのいい晴れ空になった1月8日、どんど焼きが北堀公園にて育成会の主催で開催されました。午前中には子供たちが、手分けをしてお飾りを回収し、ダルマ、書初め、お飾りなどが飾られた櫓が2つ設置されました。北堀神社から運ばれてきた火が届き、区長の挨拶のあと午後1時20分から点火しました。この日は風が強く5分少々で火が回り櫓が豪快に倒れました。消防団の皆さんが長い棒で灰を整え、30分ほどで準備完了。子ども達は竿に括り付けたお餅を手に焼き始めました。2つ目の櫓は2時から点火が始まりました。今年も大勢の参加者が無病息災を祈願しました。



みんなの健康を願ってどんど焼き 南堀



去る1月9日にホクト産業の駐車場をお借りして、南堀どんど焼きが行われました。育成会の方々を中心となって、子供達と一緒に各家からしめ飾りやだるま・門松などを集め、南堀公民館役員の方々を中心にやぐらを建てていきました。そして午後2時を過ぎた頃、区長さんをはじめ各役員さん等の手で火が点火され、点火された炎は勢いよく天に向かって燃え上がりました。赤々と燃える炎の周りでは、集まった皆さんが無病息災・家内安全を願い、持ち寄ったお餅やマシュマロを思い思いに焼いていきました。コロナウイルスだけでなく物価上昇やロシアを中心とした政情不安等、心配な事が多いですが今年も良い年でありますように・・・

どんど焼き 桜新町

桜新町育成会では、1月8日に中央公園で毎年恒例のどんど焼きを行いました。当日は穏やかな天気の中、3密を避けマスクの着用、手洗いやアルコール消毒等の感染防止の配慮に努めながらの開催でした。子供たちによって、たくさんの正月飾り、しめ縄、門松、お礼が集められ、大人たちが円錐形に積み重ね、火がつけられお焚き上げを行いました。今年度はコロナ感染症の影響で育成会のいろいろな行事が中止される中、数少なくなった昔からの伝統行事としてのどんど焼きを行い、町民の無病息災と家内安全を祈るとともに子供たちの思い出作りに貢献しました。来年度こそは、新型コロナウイルス感染症が終息して、これまでのような育成会活動が出来ることを祈願しました。



願い天までとどけどんど焼き 北尾張部



1月8日、北尾張部では伝統行事「どんど焼き」が行われました。この日は朝から子供たちが家々をまわって正月飾りやだるまなどを集めました。盲学校の校庭では企業から持ち込まれた大きな門松なども加わり、育成会や公民館、また地区の人たちが協力して二つのやぐらに組み上げられました。午後1時30分に点火されると、子供たちの大きな歓声とともにやぐらの火は空高く燃え上がり、参加した人たちは立ち昇る炎にそれぞれの願いや想いを込めていました。その後、やぐらが今年の恵方とされる南南東に倒れると、「どんど焼きの火で焼いた餅を食べると、その年の間健康でいられる」という言い伝えに因んで、棒の先につけた餅や繭玉など、思い思いに用意したものを手に、のこり火にかざして焼いていました。

「ふれあいの集い」が開催されました 石渡

1月20日、「ふれあいの集い」が、石渡公民館で3年ぶりに開催され、33名の方々が参加されました。アトラクションは、「きむりの会」の皆さんで、主婦などで素人の集まりという事で、名前の由来をお聞きできなかったのですが、今日は昔懐かしい紙芝居や文学少年、少女だった頃に読まれた懐かしい話などを幼稚と思うかも知れませんが、楽しんで下さいと、「きむり劇場」の開演となりました。最初は、ある山寺の和尚さんと元気な小僧さんが登場する『いたすら狐』という紙芝居です。「きむりの会」オリジナルの紙芝居で、話はある日の狐のいたすらから始まります。その他芥川龍之介作の「社子春」の朗読、佐藤まどか作の童話「ばあちゃんからのラブレター」の朗読、及び世界のお話より「三年とうげ」の四作を演じられました。最後に話ばかりでしたので、歌でも歌って声を出したいと思いと、『幸せなら手を叩こう』と『故郷』を全員で合唱しました。舞台と客席の音が一つになり、歌声が会場を満ちました。



スラックライン見学・体験会 北長池



2月12日、朝陽公民館の体育館にて、北長池公民館主催による新企画「スラックライン見学・体験会」が開催されました。「スラックライン」とは、幅5cmのベルト状のラインの上で技を競い合うスポーツです。当日は一般社団法人スラックライン推進機構の全面協力のもと、プロを含む選手5名による演技や指導がありました。参加者の大多数が未経験の中、バランスの取り方から基本技まで丁寧な解説があり、その後選手たちによりアクロバティックな連続技が披露されると、会場全体から歓声が上がりました。体験の時間では、高さ30cmに設置されたライン渡りに参加者が何度も挑戦し、その楽しさや難しさを実感していました。また、床に設置できるラバー製のルールも用意され、小さなお子さんやお年寄りでも無理なく体験できました。最後には選手たちのサインの抽選や、演技を背景にした記念撮影も実施され、終始楽しいイベントとなりました。

令和4年度北屋島地域人権教育研修会 北屋島

1月22日に北屋島公会堂にて、朝陽地区人権協議会副会長の古川晴雄氏を講師に迎え、人権教育研修会が行われました。今回の研修会では、主に人権問題の中でも近年特に深刻化している「インターネットと人権」について、学びました。今では誰でもスマートフォンにより、SNSを使用できる世の中です。使い方によっては、誹謗中傷等の人権侵害や個人情報の漏洩等、加害者にも被害者にもなり得ます。SNSを使用する際は、モラルを守ることが必要であり、またインターネット被害から自分自身を守る方法も知っておかなければならないと感じました。時代とともに人権問題も変化しており、どんな問題があり、それに対する国や自治体の動向を知り、どのように向き合っていくべきか考えてみましょう。



どんど焼き 南屋島



1月8日に、恒例のどんど焼きがこども広場で行われました。おだやかな天候の中、子どもたちと育成会役員が集めた門松やしめ縄、ダルマ、書初めなどを、公民館役員も協力して、やぐらに組み上げました。午後4時に、子どもたちが皇大神社から運んだ火で点火。やぐらは一気に燃え上がり、オレンジ色の炎の渦に包まれました。集まった人たちは、すべての災厄や難を焼き尽くすような強い火の勢いにしばし見入っていました。親子で仲良く餅を焼いたり、広場を走り回る子どもたちも見られる例年とおりの光景にほっとする一方で、長引くコロナ禍にあって、今年こそは平穏な年になって欲しいという願いを新たにするとどんど焼きとなりました。

真田十万石の城下町の歴史を訪ねて

11月15日、公民館部会及び朝陽公民館共催の「真田十万石の城下町の歴史を訪ねる」で松代城址、真田邸及び宝物館、佐久間象山神社を探訪しました。

松代町は、江戸時代の初期に真田信之が幕府の命により上田城から松代城に移り、松代藩政の拠点として以来、第10代藩主「幸民」まで250年の間、真田藩10万石の城下町として発展しました。

又、真田家の居城となった松代城は、三方を山に囲まれ、千曲川を外堀として利用した天然の要塞としたため幾度となく水害に遭遇しています。

真田邸は、江戸時代の末期、九代藩主真田幸教が当初義母お貞の方（貞松院）の住居として建てたもので、全国でも少ない御殿建築で、唯一当時のまま残った貴重な建物とのことです。最後に訪れた象山神社は、象山が幕府の命により京都へ上り、將軍家茂や一橋慶喜等に公武合体開国を説く活躍中に、三条木屋町で尊王攘夷派の凶刃に倒れ、非業の最期を遂げています。後に、神社は象山屋敷跡地に県社として創建されました。



「地域における男女共同参画の推進」講演会を開催

12月7日、朝陽支所2階集会室において男女共同参画社会講演会が開催され、長野市人権・男女共同参画課の相澤伸彦氏及び水上裕美氏から「地域における男女共同参画の推進」と題し、講演がありました。

地域活動を取り巻く環境が人口構造の変化、地域社会の担い手不足、ライフスタイル等の変化により価値観・住民意識の変化が起きていると言われている。そのため、従来どおりの運営では困難な部分がでてくると思われ、誰でも暮らし易い地域にするためには、様々なニーズや意見をくみ取り、地域づくりに反映させることが不可欠で、地域の課題や多岐にわたる活動に取り組み、持続可能な地域社会を構築していく上で、多様な担い手の参画を促進する必要がある。そして地域の課題は、地域住民全員で協働していくこと、年齢とか性別、就業状況を問わず、皆で協力して取り組み解決していくことなどを話されました。

又、女性の参画を進めるため、女性自身がスキルや意欲、自信を付けることと女性を後押しするような仕組み、女性が頼りにし易い制度や雰囲気が必要不可欠になっています。



●家具オフィスプランニング ●OA・IT ●文具サプライ



株式会社

丸陽

本社・営業部/〒386-0012 上田市中央2-5-10 TEL 0268-22-2400 FAX 0268-27-8787
長野支店/〒381-2206 長野市青木島町綱島490-5 TEL 026-283-1108 FAX 026-283-8108

自動車・火災・生命・各種保険代理店
保険のことならまかせて安心

あんしん企画

TEL 026-229-7171

～絆な心でにぎります～



江戸前 鮎仁

寿司出前・仕出し・各種宴会
御法事・御慶事・オードブル
御弁当・出張寿司パーティーなど
北尾張部396-10

TEL/FAX 244-1221

完全個別指導塾

学研CAIスクール

対象：小学生、中学生、高校生
教科：国語、算数、数学
英語、理科、社会

学校の授業がもっとよくわかる!!
学研の個別指導塾

尾張部教室 TEL (026)256-9131 長野市北尾張部385



学校法人
理知の杜

松本国際高等学校

通信制長野学習センター

長野市北尾張部385 赤沼ビル 1F B ☎026-243-1379



読む力・考える力——伸びる学力

学研教室

幼児/算数・数学・国語/英語

学研 北尾張部教室 長野市北尾張部385 256-9131